

# 令和2年度補正予算 産業・業務部門における 高効率ヒートポンプ導入促進事業費補助金

高効率ヒートポンプを新設または増設する場合に  
設備費・工事費の一部を補助する制度です

## 対象となる高効率ヒートポンプ

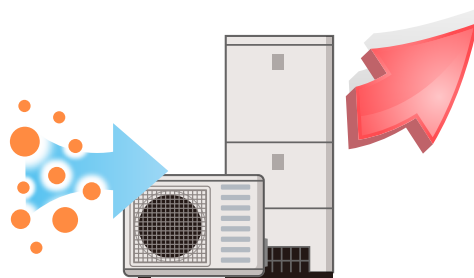
- ① 空冷ヒートポンプチラー(温水利用)
- ② 循環加温式ヒートポンプ
- ③ 温水ヒートポンプ(熱回収・水熱源)
- ④ 熱風ヒートポンプ
- ⑤ 蒸気発生ヒートポンプ
- ⑥ 業務用ヒートポンプ給湯器

※対象設備の型番は、SIIホームページ上で公表します。

## 高効率ヒートポンプの“お勧めポイント”

- ▶ ヒートポンプは、投入エネルギーに対して**数倍の熱を発生**する高効率な設備です。
- ▶ **温水、熱風、蒸気など様々な熱供給が可能**です。
- ▶ 既存の熱供給ラインに**新設・増設**することにより、**排温水や排気、コンプレッサの冷却水などから未利用の熱を回収して加熱に有効利用**できます。

<熱を有効活用できるヒートポンプ>

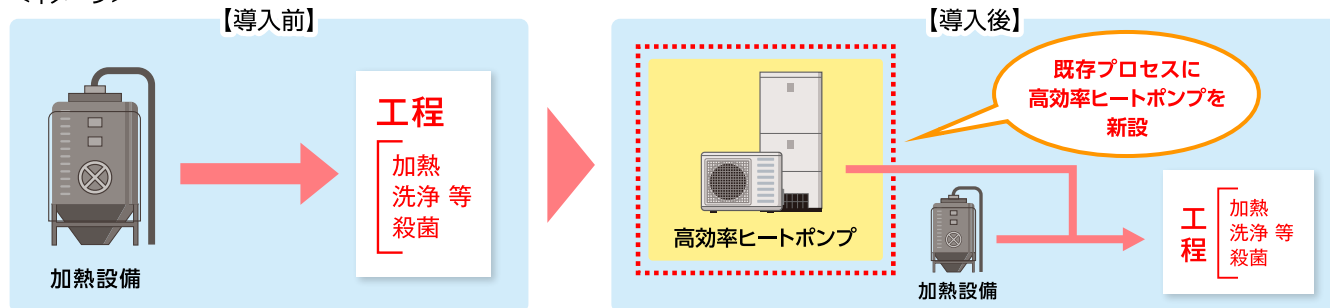


高効率ヒートポンプは、経済産業省が掲げる2030年エネルギーミックスの削減目標である原油換算5,030万klの省エネ目標に含まれている重要な設備です。

## 補助対象事業の事例

高効率ヒートポンプを新設・増設、または既存の燃焼式加熱設備を更新する。

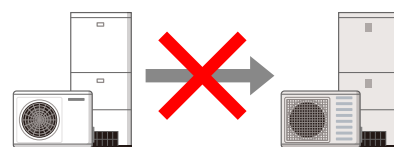
<イメージ>



## 【注意】次の場合は、補助対象となりません!

- ・既設ヒートポンプを高効率ヒートポンプへ更新する場合
- ・新たな事業場・新たな生産ラインへ高効率ヒートポンプを導入する場合
- ・高効率ヒートポンプを対人空調のみに使用する場合

補助対象外



ヒートポンプから高効率ヒートポンプへの更新

※対象となる事業要件の詳細については公募要領をご確認ください。

## 補助対象事業者

### ● 国内で事業活動を営んでいる法人及び個人事業主

但し、大企業は省エネ法の事業者クラス分け評価制度において『Sクラス』に該当する事業者\*、または中長期計画書の「ベンチマーク指標の見込み」に記載された2030年度(目標年度)の見込みがベンチマーク目標値を達成する事業者  
※原則、公募メ切り時点で「令和2年定期報告書分」として資源エネルギー庁ホームページにて、Sクラスとして公表されていることが確認できる事業者

## 補助金額

設備費と工事費に係る補助金額を算出し、その合計を事業全体の補助金額とします。

$$\text{設備費の補助金額} = \text{補助対象設備の加熱能力[kW]} \times \text{加熱能力当たりの補助金額[円/kW]}$$

工事費の補助金額 は原則、設備費の補助金額と同額です。

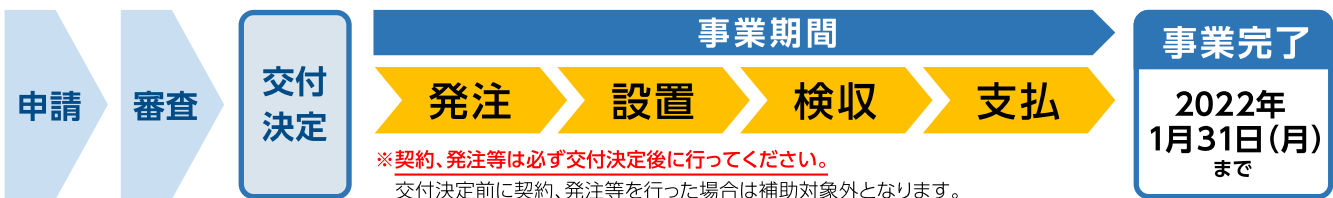
※加熱能力当たりの補助金額と工事費の考え方について、詳しくは公募要領をご確認ください。

補助金額の上限額:1事業あたり **1億円以下** 補助金額の下限額:1事業あたり **30万円以上**

## 全体スケジュール

▶ 公募説明の動画を配信しています。 詳しくはSIIホームページでご確認ください <https://sii.or.jp/hp02r/>

一次公募	2021年3月31日(水)～同年5月14日(金)17時必着 <small>※一次公募が終わり次第、二次公募を開始します。詳細が決定次第、SIIホームページで公表します。</small>
交付決定	2021年7月中下旬
事業期間	交付決定日から2022年1月31日(月)まで



## 留意事項

- ・当資料は事業の概略を説明するものです。申請にあたっては公募要領等を必ずご確認ください。
- ・補助金申請には、インターネット環境が必要です。補助事業ポータルサイトにアクセスしてIDを取得し、画面の内容に沿って必要事項を入力いただきます。
- ・補助金の交付決定前に契約、発注等がなされた事業は、交付対象とはなりません。
- ・交付申請金額の合計額が予算額を超える場合、審査の結果、不採択となることがあります。
- ・交付決定した事業者名、補助事業の概要等をSIIのホームページ等で公表します。

ご不明な点はお気軽にお問い合わせください

お問い合わせ先(通話料がかかります)

**03-5565-3856**

受付時間: 10:00~12:00、13:00~17:00 (土日祝を除く)

是非ご利用ください ▶

<https://sii.or.jp/hp02r/>



一般社団法人  
**sii** 環境共創イニシアチブ  
Sustainable open Innovation Initiative